

領域「医療的ケア」

領域の目的

医療的ケアが必要な人の安全で安楽な生活を支えるという観点から、医療職との連携のもとで医療的ケアを安全・適切に実施できるよう、必要な知識・技術を習得する。

授業科目	医療的ケア I		授業形態	講義	単位数	4 単位		
担当者	松田水月、宮地康子							
ナンバリング	W21L230	開講時期	前期	授業時間数	50 時間	授業回数	34 回	
必修・選択	介護福祉士国家試験受験資格:必修			実務経験のある教員による授業科目		該当する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	(1)理論と技術を学び、専門職としての自覚および技術を持つ。						○	
	(2)専門性を持った職業人として社会で活躍でき、自己の向上と自己実現および生涯学習の足がかりを作ることができる。							
カリキュラム・ポリシーとの関連	(1)基礎から応用へと発展するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する専門知識と技能を段階的に修得できる教育を実施する。						○	
	(2)実習を通して理論と実践のつながりを理解するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する実践力を養う教育を実施する。							
	(3)学生と教員の対話を重視し、学生個人の特性や持ち味を生かした教育を実施する。							
授業の概要・方法	<p>・テキストと配布資料を用いて、医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を習得する。また、映像視聴やグループディスカッション等を通して医療的ケアの実施に関する制度の概要及び医療的ケアと関連づけた「個人の尊厳と自立」、「医療的ケアの倫理上の留意点」、「医療的ケアを実施するための感染予防」、「安全管理体制」等についての基礎的知識の理解を深め、医療的ケアの実施手順を理解する。</p> <p>〈「喀痰吸引等研修実施要綱について」に準じて実施する為、<u>時間数は 60 分単位とする。</u>〉</p>							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術を説明できる。 ・喀痰吸引について根拠に基づく手技が実施できるよう、基盤的知識、実施手順方法を理解できる。 ・経管栄養について根拠に基づく手技が実施できるよう、基盤的知識、実施手順方法を理解できる。 ・安全な喀痰吸引等の実施のため、確実な手技を習得できる。 ・喀痰吸引・経管栄養医行為である。利用者に対しても医療提供上の危機管理を踏まえて安全に提供されるべきものである。介護を学ぶ上で医療の倫理を遵守し、チームの医療を担う一員であることを自覚し実践にあたることを説明できる。 ・「自分で考え、実践できる能力」 (3) 「学際的な視点で考えることができる」能力を身につける。 							
授業計画	第 1 回	テーマ	医療的ケア実施の基礎①				(担当 松田水)	
		内容	介護を行うにあたり医療的ケアとは何か考える。					
		授業時間外学修	予習：「医療的ケア」にはどういったものがあるか調べ整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。					
	第 2 回	テーマ	医療的ケア実施の基礎②				(担当 松田水)	
		内容	医行為について					
		授業時間外学修	予習：「医行為とは」（法律的な理解）とは何か調べ整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。					
	第 3 回	テーマ	医療的ケア実施の基礎③				(担当 松田水)	
		内容	喀痰吸引等制度を知る					
		授業時間外学修	予習：医療的ケアと喀痰吸引等の背景について整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。					
	第	テーマ	医療的ケア実施の基礎④				(担当 松田水)	

4 回	内 容	医療保険に関する制度
	授業時間外 学修	予習：医療的ケアに関わる制度を整理する。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 5 回	テーマ	医療的ケア実施の基礎⑤ (担当 宮地)
	内 容	その他の制度
第 6 回	授業時間外 学修	予習：その他、チームとしてかかわる制度について整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ	安全な療養生活① (担当 松田水)
第 7 回	内 容	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施1)
	授業時間外 学修	予習：安全に喀痰吸引や経管栄養を提供する重要性を整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 8 回	テーマ	安全な療養生活② (担当 松田水)
	内 容	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施2) グループディスカッション
第 9 回	授業時間外 学修	予習：リスクマネジメントの枠組みと考え方を説出来るよう整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ	安全な療養生活③ (担当 松田水)
第 10 回	内 容	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施3) グループディスカッション
	授業時間外 学修	予習：自分の家族が医療的ケアを受けなければいけなくなった場合、利用者・家族がどのような心理状況になるかまとめておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 11 回	テーマ	安全な療養生活④ (担当 松田水)
	内 容	喀痰吸引や経管栄養の安全な実施4)
第 12 回	授業時間外 学修	予習：ヒヤリハット・アクシデントについて整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ	安全な療養生活⑤ (担当 松田水)
第 13 回	内 容	救急蘇生
	授業時間外 学修	予習：「救急蘇生」について調べまとめておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 14 回	テーマ	清潔保持と感染予防① (担当 宮地)
	内 容	感染予防
第 15 回	授業時間外 学修	予習：基本的な感染予防について整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ	清潔保持と感染予防② (担当 宮地)
第 16 回	内 容	介護職の感染予防
	授業時間外 学修	予習：どのようにすれば清潔な環境を維持できるか考えまとめておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
第 17 回	テーマ	清潔保持と感染予防③ (担当 宮地)
	内 容	療養環境の清潔、消毒法
第 18 回	授業時間外	予習：療養生活での清潔について根本的に考え整理しておく。

	学修	復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
第 14 回	テーマ	清潔保持と感染予防④	(担当 宮地)
	内 容	消毒と滅菌	
	授業時間外 学修	予習：消毒と滅菌について説明できるようまとめておく。 復習：授業内容の点をプリントにまとめる。	
第 15 回	テーマ	健康状態の把握①	(担当 宮地)
	内 容	身体・精神の健康	
	授業時間外 学修	予習：平常状態について学び整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
第 16 回	テーマ	健康状態の把握②	(担当 宮地)
	内 容	健康状態を知る項目	
	授業時間外 学修	予習：バイタルサインとその見方について整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
第 17 回	テーマ	健康状態の把握③	(担当 宮地)
	内 容	急変状態について	
	授業時間外 学修	予習：急変状態とその対応について整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
第 18 回	テーマ	喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）①	(担当 松田水)
	内 容	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論 1)	
	授業時間外 学修	予習：呼吸器の働き、呼吸状態について整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
第 19 回	テーマ	喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）②	(担当 松田水)
	内 容	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論 2)	
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
第 20 回	テーマ	喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）③	(担当 松田水)
	内 容	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論 3)	
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
第 21 回	テーマ	喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）④	(担当 松田水)
	内 容	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引概論 4)	
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
第 22 回	テーマ	喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）⑤	(担当 松田水)
	内 容	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 1)	
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
第 23	テーマ	喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）⑥	(担当 松田水)
	内 容	高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説 2)	

第24回	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ 内容	喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）⑦ 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説3) (担当 松田水)
第25回	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ 内容	喀痰吸引（基礎的知識・実施手順）⑧ 高齢者及び障害児・者の喀痰吸引実施手順解説4) (担当 松田水)
第26回	授業時間外学修	予習：吸引の必要物品について調べまとめておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ 内容	経管栄養（基礎的知識・実施手順）① 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論1) (担当 宮地)
第27回	授業時間外学修	予習：消化・吸収について説明できるようまとめておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ 内容	経管栄養（基礎的知識・実施手順）② 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論2) (担当 宮地)
第28回	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ 内容	経管栄養（基礎的知識・実施手順）③ 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論3) (担当 宮地)
第29回	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ 内容	経管栄養（基礎的知識・実施手順）④ 高齢者及び障害児・者の経管栄養概論4) (担当 宮地)
第30回	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ 内容	経管栄養（基礎的知識・実施手順）⑤ 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説1) (担当 宮地)
第31回	授業時間外学修	予習：「経管栄養」が必要な状態とはどのような時か、調べ整理しておく。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ 内容	経管栄養（基礎的知識・実施手順）⑥ 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説2) (担当 宮地)
第32回	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。
	テーマ 内容	経管栄養（基礎的知識・実施手順）⑦ 高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説3) (担当 宮地)
第	テーマ	経管栄養（基礎的知識・実施手順）⑧ (担当 宮地)

	33	内 容	高齢者及び障害児・者の経管栄養実施手順解説 4)	
	回	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）を読む。 復習：授業内容の要点をプリントにまとめる。	
	第 34 回	テーマ	まとめ	(担当 松田水)
		内容	これまでの授業から、介護福祉士が行う医療的ケアの根拠・重要性を学ぶ。	
		授業時間外 学修	予習：これまでの授業を振り返り、理解不足の点を整理しておく。 復習：後期の演習に向けた学習課題をまとめる。	
		第 35 回	定期試験	
教科書・テキスト	介護福祉士養成講座「医療的ケア」（中央法規出版） 適宜資料を配布する。			
参考書・参考資料等	介護福祉士養成講座全巻（中央法規出版）			
成績評価の 方法・基準	定期試験と、課題レポートにより「医療的ケア」に関する領域理解の程度（65%）、「自分で考え、実践できる能力」（3）獲得の程度（20%）、授業参加度（15%）で評価する。			
課題に対する フィードバックの方法	定期試験については、採点后講評を行う。			
授業時間外学修	予習（各授業回 30 分）復習（各授業回 30 分）として、授業計画で示した内容を実施する。 介護福祉士国家試験対策学習（1 日 90 分）			
備 考	実務経験のある教員による授業科目である。 担当教員の松田(水)は、病院、公的機関で看護師、保健師として9年間従事した実務経験を持つ。 担当教員の宮地は、病院、介護老人福祉施設で看護師として9年間従事した実務経験を持つ。 看護師・保健師としての実務経験を活かして、医療的ケアの喀痰吸引・経管栄養について具体的な事例を交えながら理解できるようサポートする。			
連絡先（質問等）	オフィスアワー 月曜日 12 時 25 分～12 時 50 分 対面での質問・回答を優先したいため適宜応じる。			

授業科目	医療的ケアⅡ		授業形態	演習	単位数	2単位		
担当者	宮地康子、松田水月							
ナンバリング	W2S231	開講時期	後期	授業時間数	60時間	授業回数	30回	
必修・選択	介護福祉士国家試験受験資格：必修			実務経験のある教員による授業科目		該当する		
ディプロマ・ポリシーとの関連	(1)理論と技術を学び、専門職としての自覚および技を持つ。							
	(2)専門性を持った職業人として社会で活躍でき、自己の向上と自己実現および生涯学習の足がかりを作ることができる。							
カリキュラム・ポリシーとの関連	(1)基礎から応用へと発展するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する専門知識と技能を段階的に修得できる教育を実施する。							
	(2)実習を通して理論と実践のつながりを理解するカリキュラムを編成し、幼児教育および介護福祉に関する実践力を養う教育を実施する。							
	(3)学生と教員の対話を重視し、学生個人の特性や持ち味を生かした教育を実施する。							
授業の概要・方法	テキストと配布資料を参考にしながら、シミュレーターを用い、5項目（口腔内吸引、鼻腔内吸引、気管カニューレ内部吸引、胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養、経鼻経管栄養）を正確な手順にて規定回数以上実施する。また救急蘇生法を1回以上実施する。（毎回演習） （「喀痰吸引等研修実施要綱について」に準ずる）							
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・医療的ケアは、医療的ケアを必要とする対象者の安全で安楽な生活を支えるという観点を理解する。 ・医療職との連携をとりながら、対象者へ安全で安楽に医療的ケアを実施できるよう確実な知識・技術を習得する。 ・「フィードバック能力」(1)「自分の実践について検証し、課題を見つけることができる」能力を身につける。 							
授業計画	第1回	テーマ	喀痰吸引					(担当 松田水・宮地)
		内容	口腔内吸引の実施①					
		授業時間外学修	予習：シラバスを熟読し、授業イメージを膨らませる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。					
	第2回	テーマ	喀痰吸引					(担当 松田水・宮地)
		内容	口腔内吸引の実施②					
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。					
	第3回	テーマ	喀痰吸引					(担当 松田水・宮地)
		内容	口腔内吸引の実施③					
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。					
	第4回	テーマ	喀痰吸引					(担当 松田水・宮地)
		内容	口腔内吸引の実施④					
		授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。					

		復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第5回	テーマ	喀痰吸引 (担当 松田水・宮地)
	内容	口腔内吸引の実施⑤
	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第6回	テーマ	喀痰吸引 (担当 松田水・宮地)
	内容	口腔内吸引の実施⑥
	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第7回	テーマ	喀痰吸引 (担当 宮地・松田水)
	内容	鼻腔内吸引①
	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第8回	テーマ	喀痰吸引 (担当 宮地・松田水)
	内容	鼻腔内吸引②
	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第9回	テーマ	喀痰吸引 (担当 宮地・松田水)
	内容	鼻腔内吸引③
	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第10回	テーマ	喀痰吸引 (担当 宮地・松田水)
	内容	鼻腔内吸引④
	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第11回	テーマ	喀痰吸引 (担当 宮地・松田水)
	内容	鼻腔内吸引⑤
	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第12回	テーマ	喀痰吸引 (担当 松田水・宮地)
	内容	気管カニューレ内部吸引①
	授業時間外学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。

		復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 13 回	テーマ	喀痰吸引 (担当 松田水・宮地)
	内 容	気管カニューレ内部吸引②
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 14 回	テーマ	喀痰吸引 (担当 松田水・宮地)
	内 容	気管カニューレ内部吸引③
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 15 回	テーマ	喀痰吸引 (担当 松田水・宮地)
	内 容	気管カニューレ内部吸引④
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 16 回	テーマ	喀痰吸引 (担当 松田水・宮地)
	内 容	気管カニューレ内部吸引⑤
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 17 回	テーマ	喀痰吸引 (担当 松田水・宮地)
	内 容	気管カニューレ内部吸引⑥
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 18 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養①
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 19 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養②
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 20 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養③
	授業時間外	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。

	学修	る。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 21 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養④
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 22 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	胃ろうまたは腸ろうによる経管栄養⑤
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 23 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	経鼻経管栄養①
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 24 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	経鼻経管栄養②
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 25 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	経鼻経管栄養③
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 26 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	経鼻経管栄養④
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 27 回	テーマ	経管栄養 (担当 宮地・松田水)
	内 容	経鼻経管栄養⑤
	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）、配布資料から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
第 28	テーマ	救命蘇生法① (担当 松田水・宮地)
	内 容	心肺蘇生の方法を学び、実施する。

	回	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
	第 29 回	テーマ	救命蘇生法② (担当 松田水・宮地)
		内 容	AEDの使用方法を学び、実施する。
	第 30 回	授業時間外 学修	予習：テキストの関連部分（指示）から実施の手順や留意点を確認してくる。 復習：授業内容を見直しプリントにまとめる。
		テーマ	まとめ (担当 宮地・松田水)
	内 容	これまでの授業を振り返り、今後の学習へつながるようまとめを行う。	
	授業時間外 学修	予習：これまでの学習を振り返り、理解不足の点を整理してくる。 復習：定期試験（実技）に向け、実施の手順や留意点を確認しておく。	
	第 31 回	定期試験（実技）	
教科書・テキスト	介護福祉士養成講座「医療的ケア」（中央法規出版）		
参考書・参考資料等	介護福祉士養成講座全巻（中央法規出版）		
成績評価の 方法・基準	定期試験と授業内容を理解するプリントにより、領域「医療的ケア」に関する理解の程度（60%）「フィードバック能力」（1）獲得の程度（25%）、授業参加度（15%）で評価する。 （「喀痰吸引等研修実施要綱について」に準ずる）		
課題に対する フィードバックの方法	定期試験採点后、講評を行う。		
授業時間外学修	予習（各授業回 30 分） 復習（各授業回 30 分）として、授業計画で示した内容を実施する。 介護福祉士国家試験対策学習（1 日 90 分）		
備 考	実務経験のある教員による授業科目である。 担当教員の宮地は、病院、介護老人福祉施設で 9 年間看護師として従事した実務経験を持つ。 担当教員の松田（水）は、病院、公的機関で 9 年間看護師、保健師として従事した実務経験を持つ。 その経験を踏まえ、具体的事例を交えて理解できるようサポートする。		
連絡先（質問等）	オフィスアワー 月曜日 12 時 25 分～12 時 50 分 対面での質問・回答を優先したいため適宜応じる。		

特別授業

授業計画	テーマ	実習報告会
	内容	幼児教育科の実習報告会への参加。幼児教育科学生に対して、助言アドバイスを行う。
	授業時間外 学修	予習：助言、アドバイスを行うにあたり、これまでの学修を振り返り、整理しておく。 復習：実習報告会に参加し、新たに見えてきた各自の課題や支援の視点を明確にする。